

# ダニエル・カールの

# 聞きたい! 消防団

第30回

## 宮崎県椎葉村消防団

今回は、飛行機、電車、バスを乗り継ぎ、宮崎県椎葉村をお訪ねしました。

椎葉村には常備消防がないため、消防団が消防業務を担っているそうです。

そんな椎葉村消防団のお話を椎葉消防団長、黒木副団長、右田部長、尾前指導員、甲斐慎二指導員、甲斐洋敬指導員から伺いましょう。



後列左から、黒木副団長、尾前指導員、甲斐慎二指導員、甲斐洋敬指導員  
前列左から、右田部長、ダニエル・カール、椎葉団長(椎葉村役場で撮影)

## 椎葉村の概要

**ダニエル** まずは椎葉村の概要を教えてください。

**椎葉団長** 椎葉村は、宮崎県の北西、九州山脈の中央に位置し、総面積537.35km<sup>2</sup>と広大でその96%を森林が占めており、地形は急峻な九州山脈に抱かれ傾斜地が多く、集落はその山間に点在している自然豊かな中山間の村です。

基幹産業は農林業であり、農作業をお互いで助け合う「かてーり」という相互扶助の精神が根付いています。また、九州中央山地国定公園の雄大な山々や平家落人伝説、民俗学発祥の地と呼ばれる所以ともなった狩猟、焼畑等の民俗文化、あわせて国指定重要無形文化財にも指定されている神楽など、多くの観光資源を有することから、本村を含む高千穂郷・椎葉山地域が平成27年に世界農業遺産に認定され、広く注目を浴びることとなりました。



**ダニエル** 自然がとても豊かで素敵な村ですね。歴史も長いのですか。

**椎葉団長** はい、平家の落人が流れ着いた地域としても知られています。毎年11月の第二金、土、日曜日には椎葉平家まつりが開催され、県内外から多くの方が訪れます。



**黒木副団長** 伝統芸能も大切にしているのでこれまでずっと残っているのだと思います。神楽などは現在では子どもの頃から舞うようになり、村民に親しまれています。

**ダニエル** ありがとうございます。私は伝統芸能も研究していたので、とても興味深いです。ぜひ見てみたいです。

## 椎葉村消防団の概要

**ダニエル** それでは、次に椎葉村消防団の概要を教えてください。

**椎葉団長** 椎葉村消防団は昭和22年5月の消防団令公布により発足し、今日まで非常備消防自治体の地域防災の要として活動を行ってきました。現在は、10部、団員数315名（うち女性消防団員11名）で組織されています。

春と秋の防火査察や夏期の操法訓練、梅雨時や台風時期の風水害を想定した避難誘導等の防災訓練や広報活動等、年始の出初式へ向けた礼

式訓練や夜警、あるいは、年間を通じた火災はもとより救急、救助、捜索など、村民の生命、身体、財産を守るため、多種多様な地域防災活動を行っています。

**ダニエル** 椎葉村には常備の消防本部がないとのことですが、もし助けを求めるとしたらどここの消防本部になるのですか。

**椎葉団長** 日向市の消防本部になると思いますが、本村は今私たちがいる役場を中心として、村の端まで行くのに車で40分かかるので、緊急の対応はやはり消防団が行うことになると思います。

ちなみに私の家まで行くのにもここから40分かかります。(笑)

**ダニエル** それはひと苦勞ですね。村の人口はどのくらいですか。

**椎葉団長** 村には91の集落があり、およそ2,600人が暮らしています。

**ダニエル** 315人の消防団員で91の集落を守っているというのはすごいですね。やはり消防団を大事にしていけないといけないと思います。



## 団員確保について

**ダニエル** 団員確保のためにはどんな取組をされていますか。

**黒木副団長** 団員確保については、村民の消防団加入率(男性)はほぼ100%に近い状況であるにもかかわらず、人口減少のため団員減少を余儀なくされており、部の統廃合や管轄区域の

見直しに加え、平成29年度からは女性消防団員を確保するなど、様々な対策を講じているものの、将来にわたっての団員確保という課題は今後ますます顕著に表れてくることが予想されております。

**ダニエル** 地域の理解があって村の若い男性が全員消防団に入ってくれるのに、団員の減少を心配しなければならないというのは、ほかの地域の消防団とは違った悩みですね。団員さんの平均年齢はどのくらいですか。

**椎葉団長** 大体42、3歳くらいです。現役では45歳が定年ですが、再入団制があり、60歳まで活動を続けられるようになっています。

**ダニエル** 45歳で一度定年を迎えるということですね。そうすると現役でいらっしゃる団員さんは結構若いのですか。

**椎葉団長** 現役だけでも平均年齢が40歳くらいにはなりますね。本村も高齢化が進んでいますので、あと4～5年したら団員数も減ってくるのかなと思います。

**ダニエル** なんとか持ち直してほしいですね。人口が2,600人に対して消防団員さんは315人ですから、村の9人に1人くらいは団員さんということになりますよね。

これほどに消防団が身近な地域に生まれ育った皆さんは、消防団に入るということに対してどのようなイメージをお持ちでしたか。

**椎葉団長** やはり、常備消防がないこともあり、幼いときから自分たちの村は自分たちで守るという意識が根付いているんでしょうね。大体の男性は学校を出て村に戻ってきた際に入団します。

また、消防団活動をしている父親の姿を見て自分もやらなければならないと思う人も多いと思います。



**尾前指導員** 私も35年前、高校を卒業して村に戻ってくるときに父が消防団の部長をしていたため、自然な流れで入団しました。

**ダニエル** 後継ぎのような感覚ですかね。  
私も祖父と父が消防団員から消防士になって、叔父と従兄弟も消防士をしていたので、私もいつか絶対その道に進むと思っていましたが、いつの間にか山形弁研究家になってしまいました。(笑)

**椎葉団長** 私も息子2人と一緒に団員をやっています。ほかにも親子で入団している団員が少なくないです。

**ダニエル** 皆さん違和感なく消防団員になっていらっしゃるようですね。

## 女性部の発足

**ダニエル** そんな中、平成29年度から女性の団員さんが入られたとのことですが、女性部ができた経緯や活動内容について教えてください。

**右田部長** 宮崎県内でも女性消防団員活性化大会の開催など女性消防団員の活動に力を入れ始めたことから、平成28年度に1年間かけて女性消防団員の勧誘と発足に向けての協議を行い平成29年度から9名で活動を始め、今年度は11名で活動を行っています。活動内容は防災士や応急手当普及員の資格を取得するほか、広報

啓発活動や式典等の運営補助や災害時の後方支援を主な役割として活動を行っております。



**ダニエル** こんなに広い村で11名しかいらっしゃらないというのは大変ですね。

**右田部長** そうですね。今は役場職員や近くに住んでいる人だけで構成されているので、ゆくゆくは各集落で何人か女性団員がいるような状況になればよいと思っています。

そのために勧誘活動を行っていますが、まだ女性が消防団活動をするという意識が根付いていないというのが正直なところです。



また、すでに入団している女性団員でも、家庭があって、子育てをしているなど、様々な状況の方がいますので、無理なく活動できる環境が必要なのだと思います。

私たちの活動を見て、皆さんが入りたいと思ってくださるといいのですが、今はまず、広報活動がんばって、無理なく活動できる場であることをアピールしていきたいです。

**ダニエル** ありがとうございます。ぜひ女性団員の確保も頑張ってください。

### 災害発生時の対応について

**ダニエル** 続いて、現在取り組まれている防災対策について教えてください。

**椎葉団長** 平成17年の台風第14号災害では総降水量1,000mmを超える降雨により土砂崩れ等による被害が多数発生し、全壊25戸、半壊17戸、一部損壊等24戸と3名の尊い犠牲者を出しました。当時は道路網の寸断による各地区での孤立やライフラインの断絶、通信網の寸断により情報収集が困難になるなど、ありとあらゆるものが被災し、機能しない状態でした。そのような過去に経験したことのないような大災害を教訓に、消防団も行政・地域住民と一緒にあってヘリポート等の設備整備や各種訓練を重ねてきたことで、平成29年4月に発生した熊本地震



では本村でも震度5強というこれまで経験したことのない強い揺れであったものの、速やかな避難誘導や情報収集等の活動を行うことができました。

**ダニエル** この辺りのような山間部で、一番心配される災害はやはり大雨ですか。

**椎葉団長** 大雨とそれに伴う道路の寸断ですね。

**ダニエル** 主要な道路がだめになったとき、山の中だと抜け道などはないのですか。

**椎葉団長** そうですね。熊本県にも隣接しているのですが、そちらに行くにも峠を越えないといけないので、難しいです。

**ダニエル** ここに来るときに見た限りでも車がすれ違えないようなかなり狭い道路がありましたが、そのような狭い道が塞がったら大変でしょうね。

山の中では地盤が緩いところはないですか？熊本地震のときにはこの辺りも大きな揺れがあったということですが、被害の状況はどうでしたか。

**椎葉団長** むしろ地盤がしっかりしているところのほうが被害は大きかったです。私の家の周りは地盤が緩いのですが、しっかり揺れて衝撃を吸収してくれたようであまり被害はありませんでした。

**甲斐慎二指導員** 場所によって揺れ方や被害の大



きさが違うようです。私の家はもっと日向よりに位置していますが、あまり揺れを感じませんでした。しかし、違う場所で受けた震度3の余震はすごく揺れたように感じました。

**ダニエル** こちらのように広い村ですと集落ごとでも被害の大きさが変わってきますよね。

やはりそのような大きな災害が起きたときには消防団の持っている情報や、住民とのつながりみたいなものが大事になってきますね。

### 公務災害防止のための取組

**ダニエル** 公務災害防止のため取組はどんなことをされていますか。

**甲斐洋敬指導員** 公務災害防止を目的に平成25年度に消防基金のご協力をいただきましてS-KYT訓練を各部の指導者を対象に実施しました。また、公益財団法人宮崎県消防協会日向支部の役員研修として実施される消防基金の各種研修に本村の団幹部も毎年参加しており、訓練はもとより災害現場活動での公務災害防止に努めております。

**ダニエル** 皆さんはまだおけがなどされたことはないですか。

**椎葉団長** 目立ったけがは今までないですが、この辺りは道路状況があまりよくない地域ですので、車で出動するときなどの事故が一番怖いですね。

**ダニエル** けががないというのは良いことですな。

東北でも東日本大震災の津波の前から、まず自身の安全を守らなければ人を助けることはできないということが言われていたと聞きます。

これからも事故のないように安全に消防団活動をしていってくださいね。

### 山中での消防活動

**ダニエル** この地域だからこそ苦労されているところは何かありますか。

例えば消防の設備が十分でないとか。

**椎葉団長** 設備の面では充実しているように思います。消防本部でも持っていないところがあるような、泡で消火するポンプ車も保有しています。むしろ、それを使いこなせる団員を育てるのが大変です。

地域性で言えば、周りを山で囲まれており、どうしても山中での活動が多くなりますが、例えば行方不明者の搜索活動を手伝うようなときには山での経験が浅い、若い団員が二次災害に遭わないかという心配ですとか、山火事になったときには、隣の日向市から応援が来るとしても時間がかかるので、自分たちで消火しないといけないということがあります。

**ダニエル** 私の故郷のカリフォルニアはよく大規模な山火事が起きるので、私の父もよく出動していました。日本は雨が多く、大きな山火事が起きるイメージはないですが、山火事で出動することもありますか。

**椎葉団長** よく起きます。本村では焼畑が盛んで、大規模な焼畑であれば、それなりの準備をして行うのですが、準備をしないような小規模な焼畑を行う際に燃え広がってしまうことがあります。

**ダニエル** なるほど。さきほどの将来の人口減・団員減以外にもこの地域ならではの心配はあるようですが、設備も整っていますし、消防団に対する地域の理解もあるということで、なんだかすごくうまくいっているようですね。

最後に、椎葉村消防団について、PRをお願いします。

**椎葉団長** 近年、地震や風水害、火山等の大規模な災害が毎年のように発生しており、さらに、災害が複雑多様化、大規模化しております。そのような中、全国的に消防団の役割の重要性が再認識されており、椎葉村消防団といたしましても多分にもれなく、村民の期待が高まってきております。そして、平成29年度に日本消防協会から『まとい』を拝受し、私ども消防団員は



「まとい」



もとより椎葉村民の誇りとなりました。この受章を機に私たち消防団員はさらに村民の期待に添うべく、消防の使命並びに重要性を再確認し、消防技術の錬磨に努めるとともに、「かてーり」の精神と自らの地域は自らで守り、村民の身体、生命、財産を守るという崇高な消防精神に則り、大規模な災害への対応や、常備消防のない地域での年間を通じた火災はもとより救急、救助、捜索など多種多様な地域防災活動を行政とともに研鑽を重ねて参ります。

### 対談を終えて

宮崎県は何度も訪れていますが、椎葉村に来たのは初めてでした。風景や伝統芸能など、私にとってなじみの深い山形となぜかよく似ているところがあり、興味深かったです。

椎葉村は消防団が村の生活に馴染んでいました。そして常備消防が無い分、互いに支えあい、自分たちで地域を守らなければならないという消防団員の皆さんの気概を感じました。

また、女性消防部はまだ発足したばかりですが、これから女性の団員さんをもっと増やしていきたい、女性のパワーで椎葉村消防団をより盛り上げていただきたいと思います。

椎葉村消防団の皆さんの益々のご活躍をお祈りいたします。  
(ダニエル・カール)